

行政事業レビューシート (総務省)

予算事業名	インターネット利用申請・届出システム開発整備事業		事業開始年度	平成14年度	作成責任者	
担当部局庁	大臣官房		担当課室	大臣官房企画課情報システム室	企画課長 関 博之	
会計区分	一般会計		上位政策	電子政府・電子自治体推進費		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	○総務省組織令第3条		関係する計画、通知等	○e-Japan重点計画(平成13年3月29日IT戦略本部) ○オンライン利用拡大行動計画(平成20年9月12日IT戦略本部決定) ○文書管理業務の業務・システム最適化計画(平成19年4月13日各府省情報化統括責任者(CIO)連絡会議決定) ○職員等利用者認証業務の業務・システム最適化計画(平成19年4月13日各府省情報化統括責任者(CIO)連絡会議決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	○総務省所管の申請・届出等手続についてインターネットを経由して容易に行うことにより事務処理の電子化を進めるとともに、総務省内の文書管理や職員認証などを効率的に行うために、総務省共通基盤支援設備を整備する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○総務省共通基盤支援設備として、インターネット申請・届出のための汎用受付等システム及び総合文書管理システムを整備する。 ○汎用受付等システムは、国民・企業等から「電子政府の総合窓口(e-Gov)」を経由して総務省に送信される電子的な申請・届出等のデータを受け付け、申請については審査を行いその結果を申請者に通知するためのもの。 ○総合文書管理システムは、文書管理、文書決裁、閲覧目録、職員認証等の省内事務を統合的に実施するためのもの。					
実施状況	○汎用受付等システムは、電子申請の利用率が低い水準に止まっており、平成21年12月の総務省事業仕分けにおいて「廃止」評価となり、平成21年度末をもってシステム運用を停止した。 ○総合文書管理システムは、電子決裁率が94%(平成21年度)に達しており、事務処理の効率化のために有効に活用されている。 なお、本システムは、年度途中で改修を行っており、平成22年1月から、府省共通の情報システムである一元的文書管理システムに決裁、文書管理機能等を移行するとともに職員等利用者認証基盤システムとの連携を実施している。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	513	446	393	234	97
	執行額	422	439	342		
	執行率	82.3%	98.4%	87.0%		
	総事業費(執行ベース)	422	439	343		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	○事業実施現場の状況把握について ・請負実施前に実施体制の体制図及び報告の義務づけ。 ・定例報告会の開催や運用報告書の提出を通じて、業務の実施状況を定期的に把握。 ・庁舎内常駐の運用業者からの日次報告。				
	見直しの余地	○平成22年度は、総務省共通基盤支援設備の更改に当たっており、その調達には、質の確保に留意しつつ業者の参入機会を広げることで、より低廉な調達が実現できるように、調達仕様の見直し、手続の透明性・公平性の確保や、情報システムの分離・分割化などに努める。				
予算監視の所効見率	更なる見直し、改善が必要 (事業の抜本的見直し)					
補記						

資金の流れ  
(資金の受け取り先  
が何を行っている  
かについて補足す  
る)  
(単位:百万円)

総務省  
342百万円

【一般競争(価格競争)入札(応札者1者)】

A. 東京センチュリーリース(株)  
115百万円

〔汎用受付等システム機器の借入・運用〕

【一般競争(価格競争)入札(応札者1者)】

B. 富士通(株)  
179百万円

〔総合文書管理システムの改修・運用〕

【一般競争(価格競争)入札(応札者1者)】

C. 東京センチュリーリース(株)  
47百万円

〔総合文書管理システム機器の借入〕

【随意契約】

D. 運用雑件(5件)  
1百万円

〔公的個人認証サービス情報提供手数料等〕

A.東京センチュリーリース(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	汎用受付等システム機器の借入・運用に係る経費	115			
計		115	計		0
B.富士通(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	総合文書管理システムの改修・運用に係る経費	179			
計		179	計		0
C.東京センチュリーリース(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借入等	総合文書管理システム機器の借入に係る経費	47			
計		47	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		0

費目・使途  
(「資金の流れ」に  
おいてブロックごと  
に最大の金額が支  
出されている者につ  
いて記載する。使  
途と費目の双方で  
実情が分かるよう  
に記載)